

令和2年7月13日

未来への扉 12

校長 平野 雅仁

おはようございます。

皆さんは、新しい学校生活様式にも慣れ、元気に過ごしていますか？

九州地方での大雨は、「令和2年豪雨災害」と名付けられ、河川の氾濫や土砂崩れで甚大な被害が出ています。被害に遭われ、被災者生活を送られている方々おかれましては、謹んでお見舞い申し上げます。

さて、皆さんの学校生活では、定期考査が行われ、これからの学習を行う上での一つの目安が確認されました。現在の段階で、どこまで学習が理解されていたのか。そして、これからどのあたりを中心に復習して、身に付けていかななくてはならないのか、よくわかったのではないのでしょうか？

1年生にとっては、中学校生活最初の定期考査でしたので、慣れない点も多く、緊張もしたと思います。少しずつ慣れて、計画的に平常心で試験が受けられ、本来持っている力を十分に発揮できるようになってください。

2年生、3年生にとっても、今回できなかったところ、理解が不十分であったところをもう一度見直して、次へのステップにつなげてしてほしいと思います。

現在、将棋の世界では、藤井聡太七段が、棋聖・王位などのタイトルを獲得し、最年少記録を更新するのか話題になっています。しかし、藤井総太さんも常に勝ち続けているわけではありません。負けた時の悔しさを人一倍強く感じ、そして、克服して、次へのステップにしています。なぜ、あの時、あの一手が読めなかったのか、もっと冷静に集中して、攻めの一手を出せなかったのかなど、その時の反省、後悔をそのままにせず、負けた後、あらゆる手を読んで、次の対局に備えています。最近では、AIを駆使して、棋譜の研究・研鑽を続けています。

本日13日から始まる木村一基王位、16日の渡辺明三冠との対局もきっと熱戦が繰り広げられるものと期待されます。

最後に、だいぶ暑くなってきましたので、マスクをしていることが、つらく感じている人もいると思いますが、東京都ではまだまだ感染症が拡大しています。毎日の検温と健康観察カードへの記入やうがい、手洗い、水分の補給など熱中症対策にも十分に気を付けて、あと3週間の一学期を乗り切りましょう。

(放送による朝の校長講話から)